

## マッコーリー大学理工学部（オーストラリア）と部局間交流協定を締結

2016年11月16日（水）、工学研究院・工学院・工学部、情報科学研究科及び総合化学院とマッコーリー大学理工学部との間で、部局間交流協定の調印式を、工学研究院の 名和豊春 研究院長、情報科学研究科の 宮永喜一 研究科長、総合化学院の 大熊 毅 学院長、マッコーリー大学理工学部の Barbara Messerle 理工学部長、また、在札幌オーストラリア領事館の Ian Brazier 領事のほか両大学の関係者列席のもと、本学フロンティア応用科学研究棟2階セミナー室で行いました。

マッコーリー大学は、オーストラリアでも有数の研究重点大学であり、本学とはこれまでに多数の学生及び教員の派遣・受入が行われ、特に情報科学研究科とは、トップラボ事業等を通じ、交流協定締結及び学生交流の実施について協議を重ねてきており、同大学との連携を強化していくことで、本学の教育研究の発展や英語圏の大学として本学の学生に係る海外派遣の際の受け皿となる等、国際交流の促進に有益となることから、部局間交流協定の締結に至ったものです。

この協定は、本学の学生に対して、国際性を涵養し、国際的に活躍できる人材の養成に貢献することが期待されるとともに、本学が取り組んでいる Hokkaido サマー・インスティテュート及びラーニング・サテライトへの参加を含め、大学間交流の一層の促進が期待されます。

（総合化学院）



関係者との記念撮影